

白鷹町下水道事業経営戦略 【概要版】

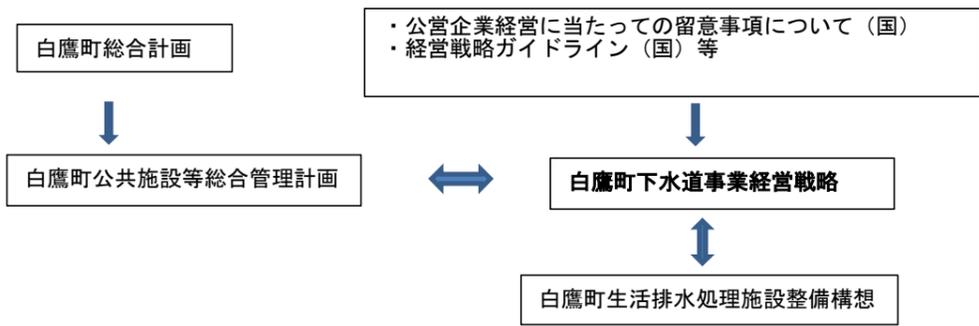
白鷹町下水道事業経営戦略とは

公営企業においては、保有資産の老朽化に伴う大量更新期の到来や、人口減少等により、経営環境は厳しさを増しており、経営健全化の取り組みが求められています。町では、下水道事業の経営の現状と課題を整理し、将来のあり方に関する基本方針を定め、下水道事業の健全な経営を行っていくための基本的な考え方をまとめたものです。

【対象事業】 公共下水道事業・特定環境保全公共下水道事業・農業集落排水施設事業・個別排水処理施設事業・特定地域生活排水処理事業

【計画期間】 平成29年度から平成38年度の10年間

【計画の位置づけ】 「白鷹町公共施設等総合管理計画」の個別計画として位置づけます。



経営戦略の事後検証

進捗管理（モニタリング）及び見直し（ローリング）を行うことによりPDCAサイクルを効果的に回し、経営戦略の事後検証、更新等を行ってまいります。

経営の基本方針

【適正な料金収入の確保】
下水道事業の健全な運営を実現するために収納率の向上を図るとともに、使用料改定についても検討し、適正な料金収入の確保に努めます。

【計画的かつ効率的な事業執行】
老朽化した施設については国の補助事業等を有効に活用し、計画的に取り替えていく予定です。また、維持管理費についても経費を削減するための手法を様々な面から検討し、効率的な事業執行に努めます。

【水洗化の促進】
安定的な有収水量を確保するために、下水道加入促進を啓蒙していきます。

【具体的な取り組み】

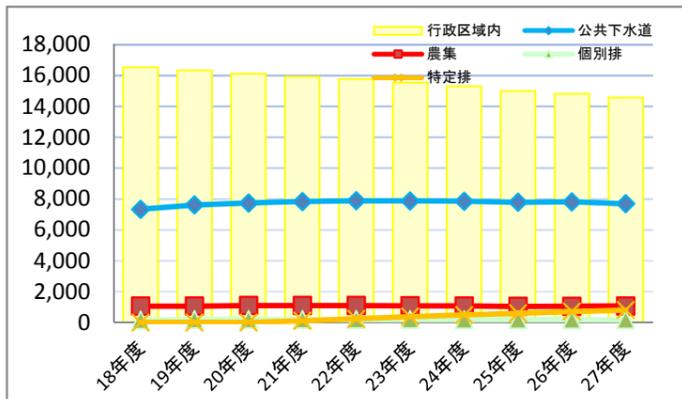
- **経営の最適化**
第3次山形県生活排水処理施設整備基本構想に位置づけ、農業集落排水事業の処理場を廃止し、特定環境保全公共下水道事業との統合を実施し浄化センターでの一括処理を計画しております。現在、白鷹町の農業集落排水事業については2施設が稼働しており、浅立地区は平成35年度、西高玉地区は平成38年度の統合及び供用開始を計画しております。
- **投資の平準化**
供用開始から30年が経過し、現在は老朽化した施設の改築更新が主な事業となっています。施設ごとに長寿命化計画を策定し、投資の平準化を図るとともに計画的な改築更新の実施をしていきます。
- **民間活力の活用**
施設保守点検業務（水質試験含む）、脱水汚泥運搬・処分業務、機械設備業務、電気保安管理業務、消防用設備等点検業務については、民間委託を行い、検針・料金徴収業務については水道事業への委託を継続して検討しております。

◆ **使用料収入の適正化について**
歳入では、区域内人口の減少により、使用料の収入が減少してきており、一般会計からの繰入金が増加しています。下水道加入率の向上を図るとともに、使用料の見直しについても検討してまいります。

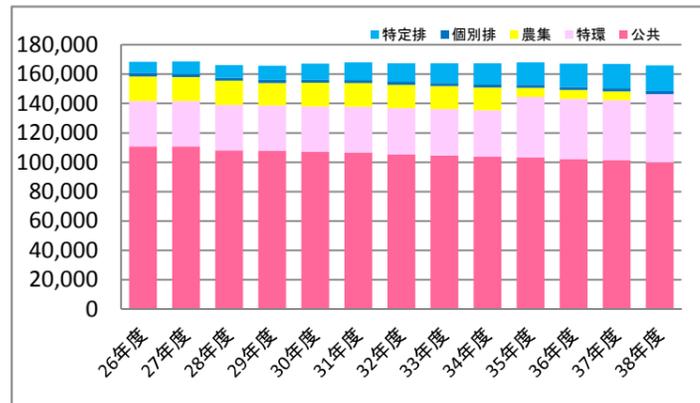
【事業別の分析について】

- **公共下水道事業・特定環境保全公共下水道事業**
公共下水道事業・特定環境保全公共下水道事業については、下水道加入人口の増加により水洗化率は上昇しているものの、今後の人口推計値による人口減少により、使用料収入も減少していく見込みです。
- **農業集落排水施設事業**
農業集落排水施設事業（浅立地区）については供用開始から20年が過ぎ、農業集落排水施設事業（西高玉地区）については供用開始から12年が過ぎ、経費回収率が低く今後の人口推計値による人口減少により、使用料収入も減少していく見込みです。
- **個別排水処理施設事業**
個別排水処理施設事業については、供用開始から14年が過ぎ、現在は維持管理を重点的に行っていますが、経年劣化による修繕費が増加しており、今後の人口推計値による人口減少により、使用料収入も減少する見込みです。
- **特定地域生活排水処理事業**
特定地域生活排水処理事業については、平成21年度より取り組んでおり、今後も年間35基の浄化槽を設置する計画です。年間有収水量及び水洗化率が伸びているのに伴い料金収入も増加していく見込みです。一方で、維持管理費は今後も増加する見込みで、企業債の元利償還についても今後増加する見込みです。

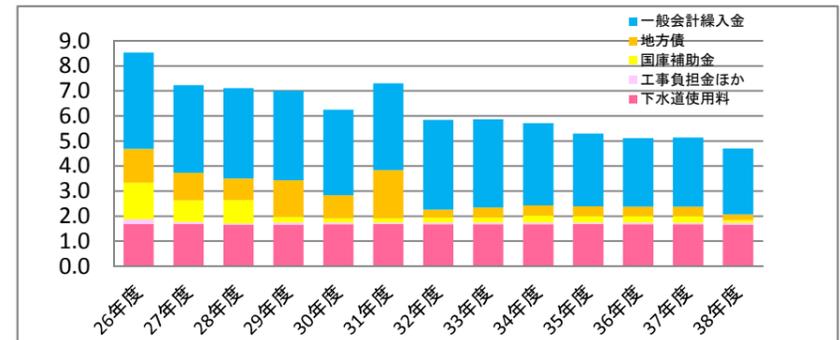
(人) 行政区域内人口と水洗化済人口の推移



(千円) 下水道使用料の見通し



(億) 歳入の見通し 【全事業合計】



(億) 歳出の見通し 【全事業合計】

